

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
毎日同じくらいの時間に起きる。	56.0	55.9
毎日同じくらいの時間に寝る。	29.3	35.6
朝食を毎日食べていますか。	77.3	79.7
地域社会などで、ボランティア活動に参加したことがありますか	86.7	51.8
平日読書を30分以上している。	36.0	30.9
平日読書は全くしない～10分未満。	45.4	46.4

起床・朝食については全国平均を下回っているが、だいたいできているまで合わせると全国平均を上回っており、90%を超えていた。平日はできているが、休日にできていないことが多いようである。学校生活では、遅刻はほとんど見られず、集会や朝自習、読書などの朝の活動はスムーズに行えている。土日も含め、部活動や学校がない日などでも、就寝時間や朝食を決まった時間に摂るといった生活習慣が向上すると、学校生活もより充実して送れるようになると考えられる。

ボランティア活動については、参加している生徒が全国平均よりもかなり多く、地域社会への貢献を大切に感じている生徒が多いことが分かった。

読書については、30分以上の読書をしている生徒が36%で全国平均よりも少し高い。読書の時間が10分未満の生徒が45%であり、読書の習慣を身に付けさせる必要がある。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
平日2時間以上勉強している。	34.7	36.4
平日の勉強時間が1時間未満である。	24.0	29.4
家で、自分で計画を立てて勉強をしている。	50.6	52.1
家で、学校の宿題をしている。(どちらかといえばしているも含む)	98.7	91.6
家で、授業の予習・復習をしている。(どちらかといえばしているも含む)	66.6	55.2

学習時間は、約35%の生徒が2時間以上と答えており、全国平均と同程度である。また、1時間未満の生徒は25%位で全国平均よりも低い。学習時間の個人差が多く、学力の二極化にもつながっている。

学習内容については、宿題はほぼきちんとできている。毎日の宿題はほとんどの生徒が取り組んでいるが、予習復習ができている生徒は66%であり、宿題以外の家庭学習ができていない生徒が多いことが課題である。家庭学習の質・量をともに上げていく必要がある。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 毎日、「自主学习」「漢字の書き取り」「英語学習」を基本に宿題を出しています。その際、お手本になるノートを提示することで、より良い学習内容になるよう意識付けています。また、「家庭学習の手引き」を配布して、家庭学習への協力を各家庭に呼びかけています。
- 読書については、ボランティアによる読み聞かせや週2回の朝読書など、読書の機会の確保や関心を高めるための工夫を継続しています。
- 毎日の朝の時間を活用して、朝自習、表現タイム(国語)、見賢タイム(数学)、朝読書を行っており、基礎学力の向上と読書習慣の定着を図っています。

【ご家庭では】

- 毎月の学校・学年便りや日頃のお子さんとの会話を通して、生徒の学校での取り組みや、活躍の様子を知り、家庭でも励ましの言葉かけをして、自信を持たせるようにしましょう。
- テストに向けてのお子さんの学習計画にも関心を持ち、計画的に学習ができるように励ましましょう。